

# 言語・文学委員会 人文学の国際化と日本語分科会

## 第25期 第3回分科会 議事要旨

開催日時：2021年4月18日（日） 15時～17時10分

開催場所：Zoomでのオンライン開催

参加者（敬称略）：窪菌晴夫、桑原聡、田口紀子、竹本幹夫、巽孝之、沼野充義、  
日比谷潤子、松森晶子、米田信子

### 議題

- (1) 前回議事録の確認
- (2) 分科会内のワーキンググループよりの作業報告
  - ① 窪菌委員（人文学の国際化と外国語教育）
  - ② 竹本委員（人文学の国際化と情報化）
- (3) 提言案「人文知の「人文知の共有」とりまとめに向けての役割分担・日程の確認
- (4) 今後の予定
- (5) その他

### 議事内容

1. 前回の分科会（2021年2月13日開催）の議事録を承認した。
2. 各ワーキンググループ（以下WG）から提出された提言案の草案をもとに、窪菌委員（WG2）と竹本委員（WG3）から、各WGについての報告があり、引き続いて、その内容についての質疑応答が行われた。
3. 各WGから出た提言草案についてのQ&Aおよびディスカッション（以下、あらたなトピックに移行した場合には●記号で示す。）
  - 窪菌：WG3の提言の中には「海外の人文系学術情報の網羅的収集」とあるが、具体的にはどのような情報か。
  - 竹本：おもに日本学の分野を念頭に置いている。
  - 窪菌：日本語関連の分野なら、国立国語研究所のHPに「文献データベース」のサイトがあり、日本語学の分野における海外の研究者の論文もカバーされている。
  - 竹本：日本文学分野の情報は国文学研究資料館のデータベースに集積されているが、これは主に国内の研究者の業績を中心としているようである。
  - 窪菌：「海外の人文系学術情報の網羅的収集」に関してどのような具体的な提言に結びつけるのか。
  - 竹本：WG3でまだ十分に詰めていない。
  - 窪菌：日本の研究を海外に発信すると同時に、海外の（おもに日本学の）研究情報に

ついても、共通のプラットフォームで参照できるようにすることは重要である。  
松森：日本語、日本文学以外の日本学の領域（たとえば日本史など）のデータについては、現在どのような現状になっているのか。

窪園：日本史、日本の人文地理などの情報は国立歴史民俗博物館に集められている可能性がある。しかしそこに海外の研究者の業績情報が集積されているかは、調べないと分からない。いずれにしても、このような共同利用機関が主体となってそのような情報を収集しないとならないだろう。

田口：我々が提案するのはあくまで「提言」なので、「このようなプラットフォームが必要である」という趣旨までで、その情報収集をどこが主体となって行うべきか、という具体的な政策までは踏み込まないでもよいのではないか。

- 田口：前回の分科会において CiNii や国会図書館のプラットフォームの状況を知り、あらためて我々が提言に盛り込もうとしているものとは少しスタンスが違うと感じた。今回提案しようとするものは、単に現在デジタル化されているコンテンツを集めて利用に供する、ということを目指したのではない。
- 田口：「情報化」という言葉は時代によってその意味が変わってきているので、避けたほうがよいだろう。この語は、昔は「コンピュータを使って情報を集める」ことを意味したが、現在は「ビッグデータや Deep learning をもとに AI が導き出す情報に関連した概念」を意味するようになった。最近では、(Society 5.0 に代表されるように) その情報に対して人間がどのようにかかわるか、ということが重視されるようになっており、そのため人文研究の重要性が再認識されている。
- 沼野：今後、この提言をまとめていくに当たっては、あまり多くのことを提言に盛り込みすぎない配慮も必要ではないか。
- 日比谷：竹本委員の WG3 の「前文」と、窪園委員の WG2 の「作成の背景」については、すり合わせをする必要があるのでは。

#### WG2の提出した草案について、議論した。

- 松森：WG2 の草案には「発信」という言葉が目立つが、WG3 の草案には、発信ばかりでなく日本と海外の相互の情報「共有」が重要、ということが盛り込まれている。たしかに双方向の議論が重要。  
沼野：その通り。外国文学研究者の立場からすると、例えば、ロシアの日本研究は水準が高いにもかかわらず、ロシア語で書かれていることもあり、日本に紹介されていない。
- 田口：草案には公的な「競争的資金」という言葉が随所にあるが、科研費のようなものを考えているのか。  
日比谷：教育関連の GP や SGU などのような、特定のプログラムの立ち上げを支援してくれる資金も念頭に入れている。

- 田口：短期で終了する競争的資金ではなく、ある程度長期的で安定した支援が必要であることを念頭に、提言を行ったほうがよい。

#### 4. 今後の予定

次回（第4回）の分科会までに各WGが会合を開き、本日議論した点を考慮して、それぞれの草案を練り直し、それを持ち寄って提言の具体案を検討することになった。12月中に最終版を提出することを目標に、次のような予定を組んだ。

- 第4回分科会予定：

6月20日（日）午後2時から5時まで

この分科会は手当を辞退してZOOM形式により行うこととする。

- 各ワーキンググループの会合（Zoom開催）予定：

WG2（窪菌委員のグループ）：5月23日（日）午前10時から12時まで

WG3（竹本委員のグループ）：4月25日（日）午後2時から

以上

（文責：松森、桑原）